

放射線治療装置、新規更新しました!

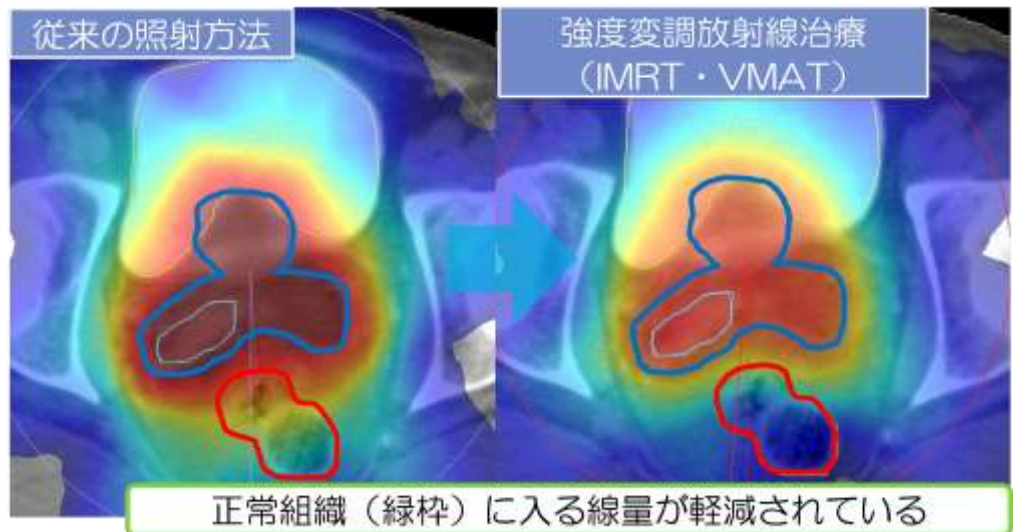
放射線科

放射線治療装置

平成29年7月31日運用開始!

ELEKTA社製 リニアック装置 VersaHD
と治療計画装置 Monaco が導入されました。

当院では通常固定照射と回転照射を行っています。今後は、高精度放射線治療を開始する予定です。高精度放射線治療は、治療計画装置を利用して、多方向から強弱をつけた放射線を目的照射部分に集中して照射することができる利点があります。しかし、照射できる部位に制約があり、照射開始までの時間がかかるなどの欠点もあります。



現在、高精度放射線治療に関しては運用に向けた準備の段階です。

短時間で効率の良い照射を実現するために高精度な検査と計画、実際の照射まで安全管理体制を整備しているところです。ご不明な点につきましては、お気軽に主治医にご相談下さい。



♪ お問い合わせ先 放射線科 ♪

♪ 多摩南三二通信をご希望の方は、患者支援センター地域連携部門までお問い合わせください ♪

その抗菌薬、必要ですか？

- ◆ 日本を含めて世界中で、抗菌薬（＝抗生剤）の効かない細菌（＝耐性菌）が増加しています！
- ◆ その原因は抗菌薬の「使い過ぎ」や「正しく使われていない」ことです。
- ◆ 耐性菌による感染症は、有効な抗菌薬が少ないため治療が難しくなります。
- ◆ 2016年4月に厚生労働省は耐性菌を減らすことを目的として行動計画を発表しました。
★ 目標：2020年までに全体の抗菌薬使用量を33%（うち内服抗菌薬を50%）減らす。

抗菌薬を「正しく使う」ために知っていただきたいこと

① 風邪に抗菌薬は効きません

- 抗菌薬は細菌に対して効く薬です。風邪の原因はほとんどがウイルスですので抗菌薬は効きません。
- 抗菌薬が必要なときは、溶連菌感染症や中等度以上の中耳炎などの合併に限られます。

② 処方された抗菌薬は医師の指示通りに飲み切りましょう

- 症状がよくなって自分の判断で飲む回数を減らしたり、途中で止めたりすることは避けましょう。
- 中途半端な治療では治療効果が得られませんし、耐性菌を増やすことにもつながります。

③ 残った抗菌薬は捨てましょう

- 「万が一の時のために」と抗菌薬を保管することはやめましょう。医師の判断なく抗菌薬を飲むことは正しい診断と治療を遅らせることがあり危険です。

④ 抗菌薬の処方がないときに「ほしい」と言うのはやめましょう

- 処方がない時には医師は抗菌薬不要と判断しています。
- 患者さん自身も「風邪に抗菌薬が効かない」ということを知っておくのはとても大切です。

⑤ ワクチンを接種しましょう

- 生まれて2ヶ月経ったらワクチンを接種しましょう。
- 肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンは細菌による感染予防にとっても有効です。

薬剤耐性の危険性

